

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	教育指導人材充実事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	01	04	02
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	指導課			
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	佐藤 智子			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内公立小中学校に通う児童生徒	意図	優れた技能や特技、専門家の指導を学校教育に取り入れ、教育内容の質的な向上を図り、児童生徒への指導の充実を図る。
事業内容	就学指導委員会、義務教育人材活用、音楽鑑賞教室、小中学校日本語指導等、幅広い人材を活用し、学習指導に活かすことにより、学校教育の充実を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	多様な活動の中でも、平成3年より実施した義務教育人材活用事業は、地域の人材を招聘し、学習等の充実が図られている。特色ある学校の活動ができています。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 義務教育人材活用	872	886	908		→→	
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	様々な分野の人材を活用することにより、普段の学習や活動では得る事ができない、専門的な指導を受けることができた。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成25年度	平成26年度	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ごとの地域人材の活用が、特色ある教育を進めるうえで大きな役割を担うようになっている。 ・専門的な知識を有する方を学校に招聘することにより、学校での教育内容を大きく広げることに寄与している。 ・学校での要望は高く、音楽鑑賞教室は100%、小中学校日本語指導は100%、全体を通して95.7%予算を執行した。 			
事務事業の総コスト(a=b+c)	3,394,985	3,810,776	3,842,254				
事業費(b)(円)	3,394,985	3,810,776	3,842,254				
うち一般財源	3,394,985	3,810,776	3,842,254				
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	・より優れた人材を発掘し、人材バンクとして登録し、幅広く広報し活用を図る	③取組の課題	・登録された人材の活用状況を把握しながら、活用の呼びかけを各学校に定期的に行う必要がある。
②今年度(H27)に実施した取組	・人材バンクに幅広い分野の専門家を登録し、活用を図るよう各学校に呼びかけた。	④今後の改善計画	・登録された人材の活用状況を把握するとともに、教育内容の質的な向上を図るために、適切な活用ができるよう呼びかけを定期的に行う。